学校だより

令和６(2024)年1月２６日
横浜市立六浦中学校
２月号

「だれもが　安心して　豊かに」生活できる学校を目指して
合言葉は、「六中６つの『あ』」

六中の「いま」をお伝えします。

１月のようす

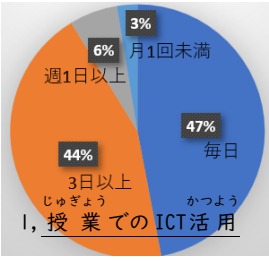
年始から痛ましい災害・事故が起きています。被災された皆様には心よりお悔やみ、お見舞いを申し上げます。日を追うごとに流れてくる情報に、何かできないか何をすればよいのかと心が落ち着かなくなります。そんな今こそ「考える」そして「行動する」時ではないかと思います。被災地のためになること、自分や大切な人を守る準備など、何かしら考えると行動するがつながるといいです。このことに限らず、考えると行動するをつなげることには価値があります。一つの行動が次の行動を呼び起こし何かが起きたという経験に思い当たる人も多いでしょう。今年の干支「甲辰」には、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」という意味があります。流れゆく時間をただ感じるだけで終わらず、竜のごとく活気に満ちた日々を送るのにふさわしい年かもしれません。歳月人を待たず。

六中においても、考えると行動するをつなげたら学校生活に変化が起きました。グラフ１にあるように、授業中にICTを活用しているという実感は増えています。それは、登校後から下校時まで貸与されたＰＣを自己管理して自由に使えるようにしたことが要因であると推察します。最近はまさに文科省が目指す「文房具のようにＰＣを使う」状況です。ICT活用の機会が多いことは、操作に慣れるだけでなく自分の情報を自分でコントロールする力も身に付き、将来の生きる力の一つになるはずです。さらに自尊感情の助けになることも期待されます。

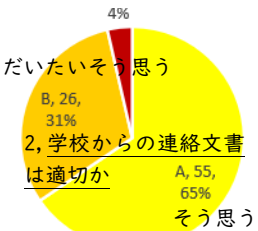
また、学校から保護者への連絡も紙よりメール連絡網サービスを使う方向に移行しています。その結果、グラフ２のように肯定的な回答の割合が増えました。しかしグラフ３と併せてみると、学校と保護者の連携については課題が感じられます。これは連絡ツールの整備というハード面だけでなく、連絡の内容やタイミングや頻度等のソフト面でもさらに充実をというニーズであると読み取れます。一方グラフ４からは地域と学校の連携は概ね図れているように見取れます。他のデータも分析しながら保護者・地域とのさらなる連携を目指して、考えると行動するを続けていきます。

学校評価へのご協力ありがとうございました。

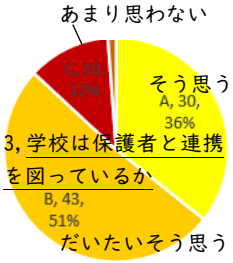
グラフ１



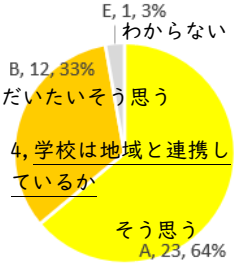
グラフ２



グラフ３



グラフ４



1年生

自然教室の準備、はじめました　～36か月間の中学校生活のうちの10か月目　36分の10～

2年次の5月に、長野県野沢温泉村へ自然教室に行きます。自然教室は、3クラスが6つの宿に分かれて宿泊します。事前学習では、係ごとにそれぞれの役割に応じた準備をします。第1回目は係分担を、第2回目はスローガンの候補を考えました。これから、その案を班長が話し合いをしてスローガンを決めます。

アカトリドリ2024年の抱負

新しい年を迎え、「2024年今年の抱負」を一人ひとり考えました。廊下に掲示された抱負には、「勉強」「成績」「友達」「部活」「新しいクラス」「先輩」などのキーワードが多く見られます。2024年もさらなる成長をしてアカトリドリに輝くことを楽しみにしています

2年生

発足したぞ修学旅行実行委員!!

3年生の修学旅行に向けて動き出しました!生徒たち主体で積極的に動いている姿が見られます!どんな修学旅行になるか楽しみです!実行委員のみなさんよろしくお願いいたします。

新しい学校のリーダーズが決まりました!

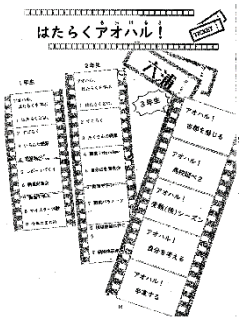
認証式で、会長の小杉さんが意気込みを拳を上にあげるなど、堂々と示してくれました。新しいリーダーたちがこれからの六浦中を作ってくれることを期待しています!

新年になり様々な場所で活躍の場面が増えました。今年は進路や学校のリーダーとして大切な1年の始まりです。緑学年のみんなとともに、最幸の年にしていきたいです!

3年生

はたらくアオハル　！

アオ学年の総合学習もいよいよ集大成です。自分の生き方について、考えを深めた3年間の活動でした。「中学のそれぞれの学年(1～3年生)で、最も印象に残っていることはなんですか?」「3年間の各教科で、最も印象に残っているのはどんな授業でしたか?」「放課後の活動で最も情熱を注いだものはなんですか?」「バケットリスト(ある期間のうちにやりたいことリスト)100を完成させよう」「未来のわたし年表を作ってみよう」「わたしレポートを完成させよう」



生徒指導

自分らしく、ありのままの自分でいい

先日、2年生の道徳の授業をさせてもらいました。「自分らしく生きる、より良い自分になるには」という題材で様々な人の生き方を知り、今の自分の考えを書いてもらいました。生徒のみなさんは真剣に自分と向き合い、思いを言葉にしてくれました。先生は、人は誰でも弱い部分、強い部分をもっていると思っています。そんな自分を認めてあげること、自分を大切にしながらも弱い部分を乗り越えようと生きていくことが大事なことだと感じています。

19日にスクールカウンセラーの山崎さんから相談室便りが出ました。そこに相談用紙をつけてみました。何か困ったことや悩みがあるときは活用してみてください。

人権教育

人権標語が各学年決まりました

1年　自分らしく　幸せに　笑って過ごせる　社会

2年　日常の　当たり前を　見直そう

3年　レインボーロード　～可能性を無限に～

生徒会や各委員会を中心として、人権週間の取組を一生懸命にやっていました。「だれもが安心して豊かに生活できる」学校にするにはどのようにすればいいのか。生徒と先生がこれからも一緒になって悩み、考えていけるとよいですね。決まった標語は書き初めにして1年間職員玄関に掲示いたします。